



## ザンビアの経済概況・月報(2014年9月)

主なマクロ経済指標	2013年	2014年
1. 人口 (百万人)	14.5 (est)	14.9 (予想)
2. 人口増加率 (%)	2.8(2000-2010)	2.8(2000-2010)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	24,746(予想)	25,981(予想)
7. GDP成長率 (%)	6.7	7.0(予想)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1(2012)	1,358*1(2012)
9. インフレ率 (%)	7.1(Dec)	7.8(Sep)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	131.26	143.87(Sep)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	423	16.11*2(Aug)
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-80.31*4	-1.90*3(Aug)
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	10,608	809.15*2(Aug)
14. 対日輸出 (百万米ドル)	53.02*4	5.36*3(Aug)
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	10,185	793.04*2(Aug)
16. 対日輸入 (百万米ドル)	133.33*4	7.26*3(Aug)
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,077	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	177 (2012)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,066 (2012)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,852 (2013末)	2,673(Feb)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	3,200 (2013末)	3,160(Mar)
22. 為替レート (対米ドル)	5.39ZMW*5	6.14ZMW(Sep)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.52	12.0 (Aug)

\*1 内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

\*1 購買力平価 (PPP)による一人当たりGNI

\*2 1USD=6.11ZMW (2014年8月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算

\*3 1USD=102円 (2014年8月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算

\*4 2014年2月>

\*3 主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/金(半製品)

主要貿易相手国(輸出): スイス 51.9%, 中国 13.3%, 南アフリカ 7.6%, コンゴ(民) 7.2%, シンガポール 4.1%, その他 15.9%

主要輸入品目: 薬剤/フルドーザー/掘削機/軽油/内燃機用燃料/瀝青

主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 34.1%, 中国 10.5%, ケニア 8.6%, アラブ首長国連邦 7.5%, コンゴ(民) 5.8%, その他 33.6%

\*4 1USD=94円 (2013年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算

\*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<出典>

1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA)/3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO/Ministry of Labour and Social Security)/4. Census 2010 /8. UNDP Human Development Report/9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO)/12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計/17., 20.-21.: The World Factbook (CIA)/18.-19.: UNCTAD/22.-23.: Bank of Zambia

### 主要な経済ニュース(9月)

#### 1. “ザンビア中央銀行、価格及び為替レートの安定化に注力”(2日, Daily Mail)

テクワンダ財務大臣は、ザンビア中央銀行は健全な経済成長を誘発すべく、価格の安定及び為替レートを維持する対策を引き続き講じると発言した。

#### 2. “アフリカ開発銀行、中小企業向けの150万米ドルの拠出を承認”(8日, Daily Mail)

アフリカ開発銀行(AfDB)は、ザンビアの零細中小企業支援を強化すべく、150万米ドルの拠出を承認した。融資は、アフリカ中小企業プログラムのもと、セットザム金融サービス(CFS)社に対して支出される。

#### 3. “ザンビア政府、インデニの出資パートナーを募集中”(9日, Times)

ムワンサ鉱山エネルギー水開発省次官は、ンドラのインデニ石油精製所の49%の株式取得に適した出資パートナーが未だに見つかっていないと発言した。

#### 4. “ザンビア、サブ・サハラアフリカ内の経済国トップ10以内に”(10日, Times)

ザンビアは、世界経済フォーラム(WEF)が発表した最新版の『世界競争力報告書』において、サブサハラアフリカ内で最も競争力のある経済国トップ10にランクインしていることが明らかになった。しかしながら、ザンビアの世界順位は、144国中96位(3.86ポイント)であり、昨年の93位からわずかながら順位が下がった。

#### 5. “鉱物マッピング作業は進捗”(11日, Daily Mail)

ムスクワ鉱山エネルギー水開発副大臣は、国内の鉱物資源の地理的な分布を示すマッピング作業が順調に進んでいると発言した。ザンビア政府は、ザンビア全土の58%の鉱物資源マッピングを完了しており、残る42%の調査が未実施である。

#### 6. “ザンビア中央銀行、流動性要件の緩和を開始”(17日, Post)

ザンビア中央銀行は、現在のクワチャの安定を受け、流動性要件の緩和を開始すると発言した。ゴンドウエ中央銀行総裁は、今年初めに実施されたクワチャ圧力を緩和する金融規制が功を奏したと発言した。

#### 7. “ザンビア歳入超、40億クワチャの還付を保留”(19日, Daily Mail)

ザンビア歳入庁(ZRA)は、「付加価値税の一般規則の第18規則(ルール18)」の規定に従い、必要な書類を提出していない業者に対する40億クワチャの付加価値税の還付を保留にしている。ZRAは、ルール18に従って物品の支払い領収書及び輸出証明書を出した輸出業者(鉱業セクター含む)に対して、7億6274万465.47クワチャの払い戻しを完了させている。

#### 8. “ザンビア経済の見通しは明るい—ヤンバ財務官”(23日, Times)

ヤンバ財務官は、世界的格付け機関であるフィッチ社によるザンビアの経済見通しが「安定的(stable)」から「肯定的(positive)」へ変化した点について、国際社会がザンビア政府の経済運営に対して信頼を寄せている証明であると説明した。

#### 9. “ザンビアのインフレ率、9%と予測”(29日, Daily Mail)

国家経済評議会(NEAC)にて、ザンビアのインフレ率は9%に上昇すると予測されている。

#### 10. “ヤルマ大臣「鉱山プロジェクトには環境影響アセスメントが不可欠」”(30日, Daily Mail)

ヤルマ鉱山エネルギー水開発大臣は、ザンビア政府は、投資家に対し、環境影響アセスメント(EIA)を実施せずに鉱山プロジェクトを開始することを許可しないと発言した。

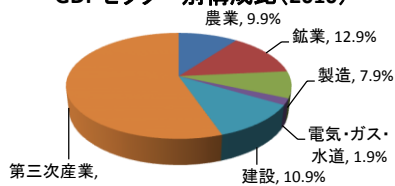
### <ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁、ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax): 35%。  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。
- 探掘権料(Mineral Royalty): 6%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):  
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、探掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

### GDPセクター別構成比(2010)



(出典: ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)